

銀行を、
人に合うかたちへ
変えていく。

HOME

SAFETY

AGENT

伊予銀行

エレベーターに何かあったときには
夜中でもすぐ対応してくれるの？

24時間365日体制で
対応します！
遠隔監視装置により、いち
早く現場に駆けつけます！

創業43年 エレベーターの保守・改修工事
愛媛メンテナンス株式会社

削りぶし・煮干し・だしの素・
めんつゆ・チルド商品

マルトモ

マルトモ株式会社

【本社】〒799-3192愛媛県伊予市米湊1696番地

50th
おかげさまで
創刊50周年

阿ることなく・恐れることなく
愛媛経済レポート

週刊
1973年創刊

2024年(令和6年)4月29日(4月29日・5月6日合併号) 第2394号

企業の新質成長をサポート

**太陽光発電で
電カコスト削減**

スマイルパワー

補助金 BCP CO2削減
活用のご相談受け付けます

株式会社 管工務店 新居浜本社 松山事業所

0800-200-8678

田窪工業所
新ブランドで高級物置シリーズ

“見える家具”イメージ、堅牢性とデザイン性を追求



床は除く、
屋根の角
は見る角
度で表情
が変わる
ダイヤモ

「見える家具」イメージ、堅牢性とデザイン性を追求

「商品開発本部」ことを目的に新ブランドを立ち上げた。ヴェロスは英語のビューティフル、エポリユーシジョン、ラグジュアリー、オンリー、サステイナブルの頭文字を使った造語。本体色はつや消しのブルイッシュグレー(屋根・床は除く)、ダイヤモは見る角度で表情が変わるダイヤモ

「商品開発本部」ことを目的に新ブランドを立ち上げた。ヴェロスは英語のビューティフル、エポリユーシジョン、ラグジュアリー、オンリー、サステイナブルの頭文字を使った造語。本体色はつや消しのブルイッシュグレー(屋根・床は除く)、ダイヤモは見る角度で表情が変わるダイヤモ

同社は1946年創業。鋼製物置やガレージ、自転車置き場等を製造販売する。物置メーカー全国大手3社の1社。年商は約156億円。

「タクボ物置」は全国のホームセンターや建材店等で販売され、手頃な価格をはじめ、堅牢性と豊富なオプションによる機能性が高く評価されている。これまで約30年前のベイスモデルを基に部分的な改良やマイナーチェンジを行ってきたが、ライフスタイルの多様化が進むなかで「利便性や安全・安心、デザイン性を高め、新しい価値を提供する」

「商品開発本部」ことを目的に新ブランドを立ち上げた。ヴェロスは英語のビューティフル、エポリユーシジョン、ラグジュアリー、オンリー、サステイナブルの頭文字を使った造語。本体色はつや消しのブルイッシュグレー(屋根・床は除く)、ダイヤモは見る角度で表情が変わるダイヤモ

「商品開発本部」ことを目的に新ブランドを立ち上げた。ヴェロスは英語のビューティフル、エポリユーシジョン、ラグジュアリー、オンリー、サステイナブルの頭文字を使った造語。本体色はつや消しのブルイッシュグレー(屋根・床は除く)、ダイヤモは見る角度で表情が変わるダイヤモ

「商品開発本部」ことを目的に新ブランドを立ち上げた。ヴェロスは英語のビューティフル、エポリユーシジョン、ラグジュアリー、オンリー、サステイナブルの頭文字を使った造語。本体色はつや消しのブルイッシュグレー(屋根・床は除く)、ダイヤモは見る角度で表情が変わるダイヤモ



吊り戸式扉
性追求した。

機能面では独自開発の壁パネルを採用し、密閉率を高め庫内への雨の侵入を軽減。吊り戸式扉で扉下のレールを無くしたことで掃除がしやすく、凍結による地面の盛り上がりにも強い構造となっている。

床の耐荷重量は、同社従来品と比べ約1.5倍の1平方メートルあたり約900kg。屋根の耐荷重量が積雪60センチ以下の一般型のほか、同約1.5倍以下の豪雪型をラインナップし堅牢性を高めた。

サイズは間口1.73〜3.3メートル×奥行1.1〜1.3メートル。価格は従来品と比べ1.2倍程度に設定する。7月から先行販売し、年明けに全扉6色と各種サイズが出そろう予定。現在特許と意匠登録申請中。今後は「ガレージ等にもシリーズ展開し、新たな市場を開拓してシェアナンバーワンの獲得を目指す」とする。

7月発売予定

鋼製物置メーカーの(株)田窪工業所(西条市北条、黒田祐弘社長)は新ブランド「BELOS」(ヴェロス)を立ち上げ、見える家具をイメージした高級物置を商品化した。従来の物置シリーズと一線を画し、堅牢性やデザイン性を追求。「タクボ物置」に次ぐ第二のブランドと位置付け、今後はガレージ等にもシリーズ展開していく考え。

奥之院ごはん 探訪

四国中央市新宮町にある「金山山 仙龍寺」。四国八十八ヶ所霊場三角寺の奥之院で、四国別格二十霊場の札所でもあり、「開運厄除」「虫除五穀豊穰」の寺として全国から参拝者が訪れる。地元では「奥之院」と呼ばれ親しまれる。その奥之院が「ランチ」で注目されている。

きっかけはコロナ禍。飲食店が営業自粛で食へに行くところがないうという参拝者から頼まれた。



「戦前までは多くのお寺が法要の際に料理人を呼んで料理を振る舞っていた」と服部信成住職。奥之院ではか



きつかけはコロナ禍。飲食店が営業自粛で食へに行くところがないうという参拝者から頼まれた。「戦前までは多くのお寺が法要の際に料理人を呼んで料理を振る舞っていた」と服部信成住職。奥之院ではか

旬の食材をふんだんに使用。全国から送られてくるお供えのお下がりも頂戴できる。メニューは月替わり。豪華なフグの唐揚げ、シヤインマスカットの白和えといった変わり種など、毎月趣向を凝らしている。価格は2千円。時間は11〜15時。予約制(☎0896-72-2033)。

つて宿坊を運営していたこともあり、再開する形でランチ営業を始めた。精進料理ではなく一般的な料理

思わず行きたくなる! ひと うわさの女



古民家宿 傳次 denji
店主 大塚 仁美さん



所在地: 松山市由良町819
*最大6人まで宿泊可能。1棟貸しで1泊5万円。宿泊予約はAirbnbで受け付ける。オプションで出張料理サービスもやっている。詳細はInstagram参照。

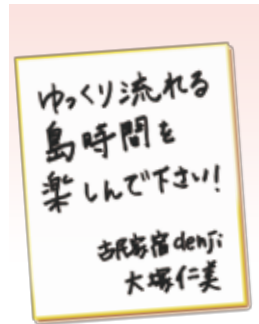


2024年版(会社年鑑)より一部掲載

「denji」は昨年8月にオープンした古民家宿。由良港から徒歩5分ほどの場所にある。大塚さんは小さい頃、興居島の海の家によく遊びに行っていたが「だんだんと観光客が減ってきているというのを耳にするようになりました」と話す。島内に泊まれる場所が少ないこともあり、開業を決めた。

物件探しに苦戦しつつも好物が見つかり、築70年の古民家

を購入。宿の名前は大塚さんの祖父の名前から名付けたという。普段は島外にいるが、予約がある時や手入れなどで定期的に興居島に訪れる。「島の皆さん



はとてもあったかくて、良い縁に感謝しています。「海外の人にも来ていただき、ゆったりした時間を過ごしてほしい」と話す大塚さん。「島の魅力をもっと発信し、また来たいと思ってもらえるよう頑張ります」と意気込みを見せる。「宿泊に何かアクティビティをプラスしてお客様に案内したい」とし、それに向け自らカヌーやサップに挑戦している。

社長の Birthday

- 濱地辰巳さん(愛媛農機販売(株)、昭和28年4月22日)
- 毛利健司さん(伊予鉄不動産(株)、昭和43年4月23日)
- 曾我部元親さん(南商事(株)、昭和53年4月23日)
- 渡邊政春さん(株ソウケン)、昭和44年4月24日)
- 石川慎一郎さん(やまと印刷(株)、昭和51年4月25日)
- 水代健さん(エネロ(株)、昭和55年4月25日)
- 吉野尚良さん(伊豫スズキ販売(株)、昭和49年4月26日)
- 弘田勉さん(株京屋、昭和41年4月27日)
- 田中利幸さん(TGI(株)、昭和46年4月27日)
- 兵頭寛昭さん(大進建設(株)、昭和49年4月28日)

※当コーナーにご登場いただける女性を募集しています ☎089-947-1411(うわさの女係)